

CPN1800D (HB) 仕様および CPN1200D (C) 仕様

■ 施工上のポイント

- たるきは30×40mm以上、@500mm以内で組んでください。
- 接合部は軽く突き付けとし、図のように各板の端部にたるきを施工してください。
- CPN1200D (C) 仕様の場合、構造用合板などの接合部はずらして施工してください。
- 留め付けねじは先孔をあけ、φ4mm×40mm以上を使用し、@250mm以内で図のように施工してください。
- 留め付けねじは、端部より30mm程度の位置に留め付けてください。
- 施工後は、すみやかにFRP防水工事を行ってください。
- 施工からFRP防水を施工するまでの間は必ず養生を行い、雨水などに濡らさないでください。

万一濡れた場合には、十分乾燥させてからFRP防水工事を行ってください。

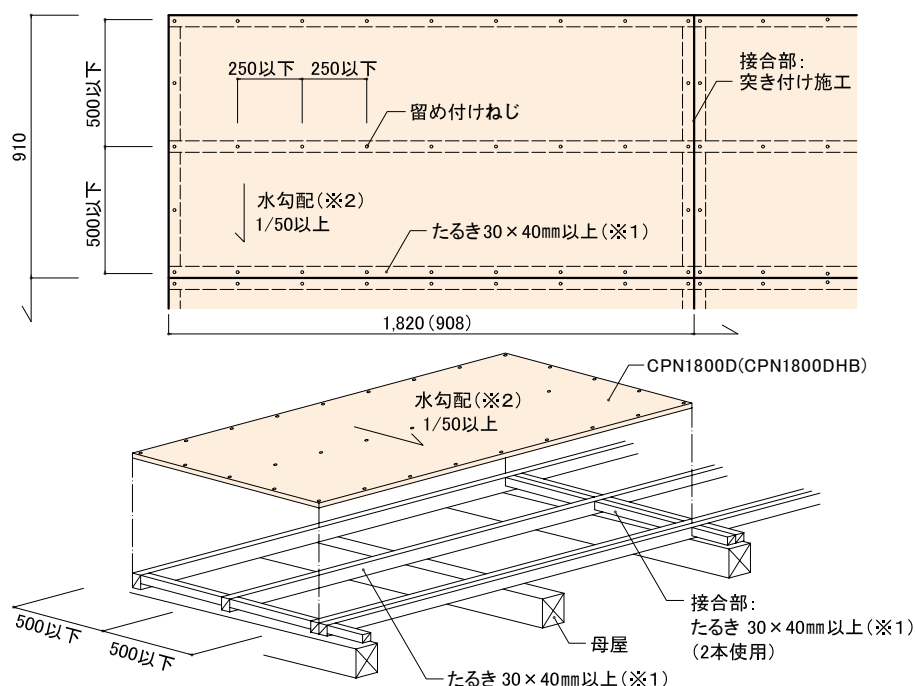
※ベランダ面は点検や洗濯物干し程度の非歩行・軽歩行の使用を基本とします。常時通路や作業などでの歩行使用は避けてください。

軽歩行でも歩行頻度が多い場合はたるき@303mmで組むことをおすすめします。

■ ベランダくんの施工

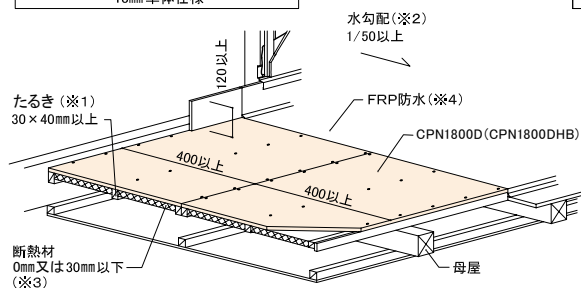
CPN1800D (CPN1800DHB)
18mm 単体仕様

●下地組みおよびベランダくんの留め付けは、次の納めを参考に施工を行ってください。
(たるきの方向を流れに直交させた場合の施工例)



●ベランダくんを切断して施工する場合、最低400mm幅以上で使用してください。

CPN1800D (CPN1800DHB)
18mm 単体仕様



CPN1200D (CPN1200DC)
12mmと合板などの複合仕様

